

令和4年度 奈良県立明日香養護学校 学校評価総括表

【特別支援学校用】

年度	令和4年(計画1年目)
教育目標	◇「明るく、強く、美しく」生きぬく人間づくり ◇児童生徒の自立と社会参加を目指した生きる力の育成
年間重点目標	◆適切な実態把握のための研修を充実させる ◆明日香のチーム力で安心安全な教育環境を継続させる ◆教職員一人一人が役割をもちそれぞれに力を発揮する。
運営方針	* 児童生徒の自立と社会参加を目指し、発達段階や障害の状況に応じた授業づくりや授業改善を推進する。 * 家庭や医療、福祉等関係機関との連携を強化し、安心安全な教育環境づくりを推進する。 * 教職員一人一人が学校運営の参画者であるという意識を持ち、それぞれの役割を果たす。

奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	計画期間における具体的目標(B)	令和4年度末の目標値等(C)	令和4年度末の状況(D)	自己評価(E)	学校関係者評価(F)
1. 心と身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	一人一人の実態に応じた身体機能の向上、生活動作の向上、及び精神面の健康状態の保持・改善	各家庭や関係機関との連携を図り、動作の学習・摂食指導等を充実させるとともにメンタルヘルスや自己肯定感を育む取組の推進	・からだの支援会議（小中高 年2回） ・動作の学習、摂食指導の研修（小中高 年1回・健康とからだの研修（訪 年1回） ・PT・OT・PSW・SSW・SC等関係機関との連携			
	障害の状態を踏まえた安心安全な教育環境づくりの推進	医療的ケアを安心安全に実施できる体制の継続	・医療的ケアの研修（小中高 学期1回） ・緊急時対応シミュレーション（小中高 年2回以上）全校緊急時対応シミュレーション（年1回） ・医療的ケア実施手続きの整理と全校医療的ケア報告会（年2回） ・積極的な障害者スポーツの体験（小中高 年間最低2種目） ＜ポッチャ、陸上競技、フライングディスク、水泳、ボウリング、フットベースボール、ゴールボール、卓球、ゴロ卓球＞			
	運動習慣向上のための取組の推進	障害者スポーツ大会への参加率を中・高で10パーセント	・児童生徒の適切な実態把握、根拠ある目標設定のための研修 ・Sスクール研修（全校3回・小中高訪 学期1回） ・Co-MaMeを活用した実態把握の実施（病 学期1回）			
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	児童生徒の実態に応じた教育課程による系統的な指導の推進	適切な実態把握を行い、根拠のある目標設定に基づいた授業実践	・オンラインを活用した行事や交流及び共同学習 ・児童生徒の実態や課題に応じたICT活用による学習支援 ・会議等におけるICT機器の活用			
	ICTを活用した教育の充実	児童生徒の実態に応じたICT機器、視線入力装置、アプリなどを活用し主体的に参加できる授業や行事の充実	・災害避難学習、訓練、検証（年3回） ・BCP（災害時における事業継続計画）の検証（年2回）と明日香村との協議（年1回）			
	危機発生に備えた対策の推進	災害発生時や傷病者発生時における教職員の対応力の向上	・小「せいかつ」中「たばなタイム」高「仕事」の合同授業会議を通じてキャリア発達を促す授業内容や工夫、付けたい力などの情報共有及び整理（学期1回） ・様々な取組や行事においてキャリア発達の視点を踏まえた目標設定と振り返り			
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	キャリア発達を促す授業づくりを推進	1 2 年間を通じて各ステージに必要なキャリア発達について整理・共有	・支援体験学習（中 年1回） ・進路体験学習（高 年2回 訪病 適宜） ・社会参加に向けての校外学習（病 年2回程度） ・学部通信や保護者懇談会と通じた情報発信 ・進路研修会（全校 年1回・小中高 年1回） ・児童生徒の実態や家庭のニーズに応じた事業所や就労先等との連携			
	人や社会とのつながりを広げる取り組みの推進	支援体験学習、進路体験学習、スクーリングに向けた取り組みの積極的な推進	・ふれあいわくわく学習会（小 年1回） ・地域の協働推進事業（中高 年1回） ・遠足、校外学習等（訪 年2回） ・奈良TIME、社会参加活動（病） ・学校見学会、体験学習、教育相談 ・「あすかで発見」8 / 3 ・「五條市からだの相談会」8 / 23			
	卒業後を見据えた進路情報の提供	保護者懇談、学部通信、研修等を通じた積極的な情報発信	・学校運営協議会の設置 7 / 1、協議会開催（9/16・1/17）			
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	地域資源を活用した学習の推進	地域の協働推進事業の推進及び児童生徒の実態や課題に応じた地域資源の活用	・人権研修に係る研修（年1回） ・いじめ防止対策研修（年1回）			
	センター的な役割の推進	専門性を生かしたセンター的役割の推進	・明日香小学校、聖徳中学校、高取国際高等学校との学校間交流（年3回） ・居住地校交流（年1～3回） ・挨拶運動（毎月）クラブ活動（学期2回）グリーンキャンペーン（年1回）等			
	学校運営協議会の運営・推進	学校運営協議会の意見を反映した学校運営の推進	・保護者との連携、福祉や医療、労働等の関係機関と連携を図り、付けたい力や具体的支援の共有 ・利用事業所や実習先、進路先等との情報を共有			
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	いじめ防止対策や人権を尊重する意識の向上	いじめや不登校、人権に関わる研修の実施				
	多様性を尊重し仲間と触れ合い共に活動する取組の推進	児童生徒会活動及び居住地校や学校間の交流及び共同学習を推進				
	個別の教育支援計画、個別の指導計画を活用した切れ目ない支援の実現	保護者との連携、福祉や医療、労働等の関係機関と連携を図り、付けたい力や具体的支援の共有				

3 評価結果の分析、今後の改善方策等

--